



一期一会

- 4 -


<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/jh15/>

中学生という段階

6月29日の全校集会で校長からは「中学生という段階」とのタイトルで、次のような話をしました。



赤ちゃんって、めっちゃ可愛いですよ。誰が見てもかわいい。写真の犬だって、人間の赤ちゃんもかわいいと思ってきているようですね。

赤ちゃんが可愛いと思うのは、動物の本能のようなものです。赤ちゃんは守ってあげないと一人で生きていくことができないですからね。



小学生も3,4年生くらいまでは、まだまだかわいいですね。大人より体も小さいし、よく笑う。何にでも一生懸命です。(実は右の写真は50年前くらいの写真です)



君たち中学生でもこんなに一生懸命に声を出して、私からすればかわいいです。

でも、低学年の頃や赤ちゃんの頃の「かわいい」とは、だいぶ違ってきますね。



もし中学生になって、知らない大人に「君かわいいね」と言われたら、これは注意が必要かもしれません。

その場合、多分かわいいという意味がこれまでとは違います。(夏になると不審者が増えますから要注意!)



知らない大人はともかくとして、保護者の多くの方は、今でも君たちが赤ちゃんの時のかわいかったイメージを持っていて、いつまでも「かわいい〇〇ちゃん」と思ってくれています。

そして君たちがまだまだ何もできない子どもだと思っていて、困ることが一つもないようにいつも手を差し伸べようとしてくれます。

また、君たちがだんだん大人になって、離れていくのを寂しく思う気持ちもあります。その気持ちは、私も親としてよくわかります。

「いつまでもそれに甘えていていいんだろうか・・・。」

今年から成人は18歳。

しかし、いつまでもそれに甘えていて良いのだろうか…。今年から成人年齢が18歳になりました。

中学1年生でも5年後には成人になる年齢です。たったの5年後です。(3年生なら3年後です)

与えられることに慣れすぎるとどうなるか。



与えられることに慣れすぎるとどうなるか、というたとえ話です。

エサがいっぱい入った瓶の上にネズミを置きました。ネズミは何不自由なくエサを食べ続けました。

そのうちエサがなくなりかけていることに気がつきます。でも、その時には、もう瓶の外に出ることはできなくなっていました…。

何か困ったことが起きた時、それは成長するチャンス。

(1)まず、自分でどれだけできるか、考えてやってみる。

(2)他人の助けを求める力も大切な力。

(3)保護者の方に、自分はどのように動くのがよいかを相談する。

自立のために自分で考え、動く癖をつける。

何か困ったことが起きた時、それは成長するチャンスです。

(1)まず自分でどれだけできるか考えてやってみる。

失敗も経験値となり、自分の力になる、ということです。

(2)他人に助けを求める力も大切な力。

先生たちもみんなのことを思っていますので、ぜひ相談してください。また本当の友達は困っている時に助けてくれます。これをきっかけにますます絆が深まるかもしれません。

(3)保護者の方に、自分はどのように動くのがよいかを相談する。

先ほども言ったように、家の人を全力で解決しようとしてくれるでしょう。

でも「できれば自分の力で解決したい」と伝え、解決に向けての動き方についてアドバイスをもらう方が、皆さんの力を高めることになると思います。

自立のために自分で考え、動く癖をつける

まず単純な話として、朝自分で起きることや、家の中のことすべてが保護者頼りになっているなら、それは見直すべき時期かもしれません。

自分の道を切りひらけ



中学生は、苦勞しながらも自分の道を切りひらこうとしている人のカッコよさを理解できる年齢だと思っています。

十五中の先生たちもそんな皆さんを素敵だと思っていますし、心から応援したいと思っています。

以上、暑い中でしたので、短く話しましたが、子どもたちは静かに聞いてくれていて、話が終わると拍手してくれました。おうちでも「自立」については是非話しをしてみてください。

子どもが困っている状況には、学校とご家庭で協力し、子ども自身のたくましさや自立にもつながるよう解決に当たればと存じます。よろしく願いいたします。

学年の取り組み・生徒会スローガンについて

全校集会では、クラス代表から各学年の取り組みの発表や生徒会執行部からのメッセージがありました。

学年からは、行事や教え合い学習をとおして学年の団結が見られたことや、今後取り組んでいくべき課題が語られました。みんなで声をかけあいながら、いい学年を作っているという気持ちが伝わってきました。

また、生徒会執行部からは、みどりの募金で36939円集まりましたと結果の報告がありました。たくさんのご協力をいただき有難うございました。その後、今年度の生徒会スローガン（下）やベルマークをクラスごとに回収することの報告がありました。

保健委員会では熱中症防止に向けた呼びかけ、文化委員会では海外の子どものワクチン接種を実現するために7/20までペットボトルのふたを回収していくそうです。図書委員会では読書の推進のためにスタプラリーの企画、整備委員会ではポスター作り、体育委員会では体育大会へ向けての取り組みなど、十五中の生徒会頑張っています！

生徒会 今年度スローガン



ダブルピースには2つのピースの意味がある、と辻本さんが説明してくれました。

- ① PEACE（平和）
- ② PIECE（パズルのピース）

ダブルピースのポーズを全校生徒で！

松波元選手（ガンバ大阪）来校

6月28日、1年生の学習でガンバ大阪で選手や監督として活躍された松波正信さんが来られました。松波さんは、高校時代は全国大会で得点王に輝き、Jリーグでも18歳で史上初のハットトリック（3得点）を上げるなど活躍された選手です。松波選手は、選手時代の映像を見せてくださり、次のようなことを語ってくださいました。

- ・こうなりたいという目標、イメージを持つ
- ・できるかできないかを考えるのではなく、目標、夢に向かって今やるべきことをやってみる。
- ・目標、夢は願うだけでなく言葉にして応援してもらう（家族、仲間、学校の先生など）
- ・目標、夢に向かって今日から行動する



松波さんを囲み記念撮影

お話しのための質問コーナーでは何人かの方が手を挙げて積極的に質問していました。

熱中症について

今年の夏は例年に比べても暑くなりそうな予報です。熱疲労が蓄積してしんどそうにしている姿もあります。運動時には必ずマスクを取るようにしてください。また屋外では接近して話をするとき以外ははずすようにしてください。頻繁に休憩を取り、水分を十分補給するようにお願いします。

運動する時
マスク、とろう。
熱中症には**命の危険**も！



怖い**熱中症**。運動時や屋外で人と離れているときはマスクを外そう。こまめに**水分と塩分**、そして**適度な休憩**を。体調が悪ければ**すぐに誰かに言う**。睡眠や食事など、**基本的な生活習慣**をしっかりとつけよう。

熱中症防止強化月間 6月～9月

豊中市立第十五中学校

セクハラ等の窓口について

十五中では、子どもの人権を大切に教育を進めています。

万一何か気になる事がありましたら、もちろん管理職、担任の先生はじめどの教員に相談して頂いてもよいですが、次の先生を窓口としておりますのでお知らせします。

- ・坂井先生（養護教諭）
- ・西田先生（生徒指導主事）